

取扱説明書

FlexScan[®] HD2452W

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず使用上の注意、本取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

最新の取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>

モニターについて

もくじ

第1章 特長と概要

- 1-1 特長
- 1-2 スイッチ名称
- 1-3 操作スイッチの使用方法
- 1-4 リモコンボタン機能一覧
- 1-5 機能一覧と設定メニュー基本操作方法

第2章 設定と調整をする

- 2-1 入力を切り換える
- 2-2 画面の調整をする
- 2-3 カラー調整をする
- 2-4 音声を調整する
- 2-5 画面サイズを自動で切り換える
- 2-6 画面の表示率を切り換える
- 2-7 モニターの節電設定をする
- 2-8 電源ランプ/EIZO ロゴ表示を設定する
- 2-9 モニターの操作音を設定する
- 2-10 モニター情報をみる
- 2-11 表示言語を設定する
- 2-12 操作スイッチをロックする
- 2-13 お買い上げ時の設定に戻す

第3章 こんなときは

第4章 ご参考に

- 4-1 アーム取付方法
- 4-2 仕様
- 4-3 用語集
- 4-4 プリセットタイミング

第5章 アフターサービス

リモコンでの操作について

リモコンでは以下の設定と調整ができます。操作方法など、詳細についてはリモコン操作ガイドをお読みください。

- ・ オフタイマー設定をする
- ・ カラーモードを切り換える
- ・ 画面サイズを切り換える
- ・ (ゲーム画像表示時)
画面サイズを切り換える / スルーモードに切り換える
- ・ USB 設定を切り換える
- ・ 音量を調節する / 消音にする
- ・ 入力を切り換える
- ・ PinP (ピクチャーインピクチャー) 表示にする

セットアップについて

コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップマニュアルをお読みください。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、基準に適合できない恐れがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調電波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、画面の大きさを変える（例えば、入力された映像の縦横比を変える）などの特殊機能を使用すると、著作権法で保護される著作権を侵害する恐れがあります。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

Copyright © 2008 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Apple、Macintosh は Apple Inc. の登録商標です。

VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の商標です。

Windows、Xbox 360 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

NEC は日本電気（株）の登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

EIZO、FlexScan、ScreenManager は株式会社ナナオの日本およびその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

モニターについて

本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、30分程度かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げた使用をおすすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。
(次ページ「[クリーニングのしかた](#)」参照)

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押しただが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

- ・溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットや液晶パネル面を痛めるため絶対に使用しないでください。
-

参考

- ・液晶パネル面のクリーニングには ScreenCleaner (オプション品) をご利用いただくことをおすすめします。
-

液晶パネル面

- ・汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- ・落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- ・画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

もくじ

モニターについて.....	3	2-7 モニターの節電設定をする.....	25
クリーニングのしかた.....	4	●節電モードからの復帰条件を設定する [信号検出設定].....	25
モニターを快適にご使用いただくために.....	4	2-8 電源ランプ/EIZO ロゴ表示を設定する.....	26
第1章 特長と概要.....	6	●画面表示時の電源ランプを消す [電源ランプ].....	26
1-1 特長.....	6	●モニター起動時の EIZO ロゴの表示 / 非表示を設定する [EIZO ロゴ表示].....	26
1-2 スイッチ名称.....	8	2-9 モニターの操作音を設定する.....	26
1-3 操作スイッチの使用方法.....	9	●ビープ音を設定する [ビープ音].....	26
1-4 リモコンボタン機能一覧.....	10	2-10 モニター情報をみる.....	27
1-5 機能一覧と設定メニュー基本操作方法.....	11	●設定状況、使用時間などを確認する [インフォメーション].....	27
第2章 設定と調整をする.....	14	2-11 表示言語を設定する.....	27
2-1 入力を切り換える.....	14	●メニューの言語を選択する [言語選択].....	27
●表示したい機器が接続されている入力に切り換える [入力切替].....	14	2-12 操作スイッチをロックする.....	28
2-2 画面の調整をする (コンピュータからアナログ信号を入力している場合のみ).....	15	●使用できる機能を制限する [操作ロック].....	28
2-3 カラー調整をする.....	19	2-13 お買い上げ時の設定に戻す.....	28
簡易調整.....	19	●カラー調整をリセットする [リセット].....	28
●カラーモードを選ぶ [カラーモード].....	19	●すべての設定をリセットする [リセット].....	28
詳細調整.....	20	第3章 こんなときは.....	29
●カラーモードの調整 / 設定をする.....	20	●メッセージ一覧.....	33
●調整内容.....	21	第4章 ご参考に.....	34
●明るさを自動で調整する [明るさ自動調整].....	22	4-1 アーム取付方法.....	34
2-4 音声を調整する.....	23	4-2 仕様.....	35
●[高音 / 低音 / バランス / 音声レベル] を設定する.....	23	4-3 用語集.....	39
2-5 画面サイズを自動で切り換える (HDMI/VIDEO 入力時のみ).....	24	4-4 プリセットタイミング.....	41
●入力信号のアスペクト情報に応じて画面の表示サイズを自動的に切り換える [画面サイズ自動切替].....	24	第5章 アフターサービス.....	43
2-6 画面の表示率を切り換える (HDMI/VIDEO 入力時のみ).....	24		
●入力映像の表示範囲を切り換える [画面表示率].....	24		

第1章 特長と概要

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1 特長

- ・ワイドフォーマットビデオ信号入力対応 24 インチ
- ・表示解像度 1920 ドット× 1200 ライン
- ・コントラスト拡張、輪郭補正機能搭載
- ・PinP (ピクチャーインピクチャー) 機能搭載
- ・周囲と表示映像の明るさに応じてモニターの明るさを自動で調整可能
- ・ゲーム画像の表示に特化した機能(カラーモード / 画面サイズ / スルーモード) を搭載
- ・スライダーを採用し、優れた操作性を実現
- ・ArcSwing2 スタンドにより自由自在にモニター画面の高さ・角度の調整が可能
- ・リモコンによる簡単操作、各種調整 / 設定が可能
- ・マウスやキーボードを使って操作できるユーティリティソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD (Windows 用)」を添付

【コンピュータ信号入力対応】

- ・DVI-D コネクタ× 1、D-Sub15 ピン (ミニ) コネクタ× 1 (2 系統)
- ・水平周波数、垂直周波数は以下の通り；

水平周波数	デジタル信号入力時	31.5 ~ 76kHz : 各プリセット信号 ± 1kHz
	アナログ信号入力時	31.5 ~ 80kHz : 各プリセット信号 ± 1kHz
垂直周波数	デジタル信号入力時	59 ~ 61Hz : 各プリセット信号 ± 1Hz (VGA TEXT 69 ~ 71Hz) (720p/1080p [*] 時は 49 ~ 51Hz も対応)
	アナログ信号入力時	55 ~ 76Hz : 各プリセット信号 ± 1Hz (720p/1080p [*] 時は 49 ~ 51Hz も対応)

^{*} マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途

- ・フレーム同期モード対応 (49.60 ~ 50.40Hz、59.50 ~ 60.50Hz)
- ・USB ポート (アップストリーム× 2、ダウンストリーム× 2) 搭載
- ・DVI デジタル入力 (HDCP) 対応
- ・USB オーディオ機能搭載
- ・接続した USB 機器を 2 台のコンピュータで使用可能

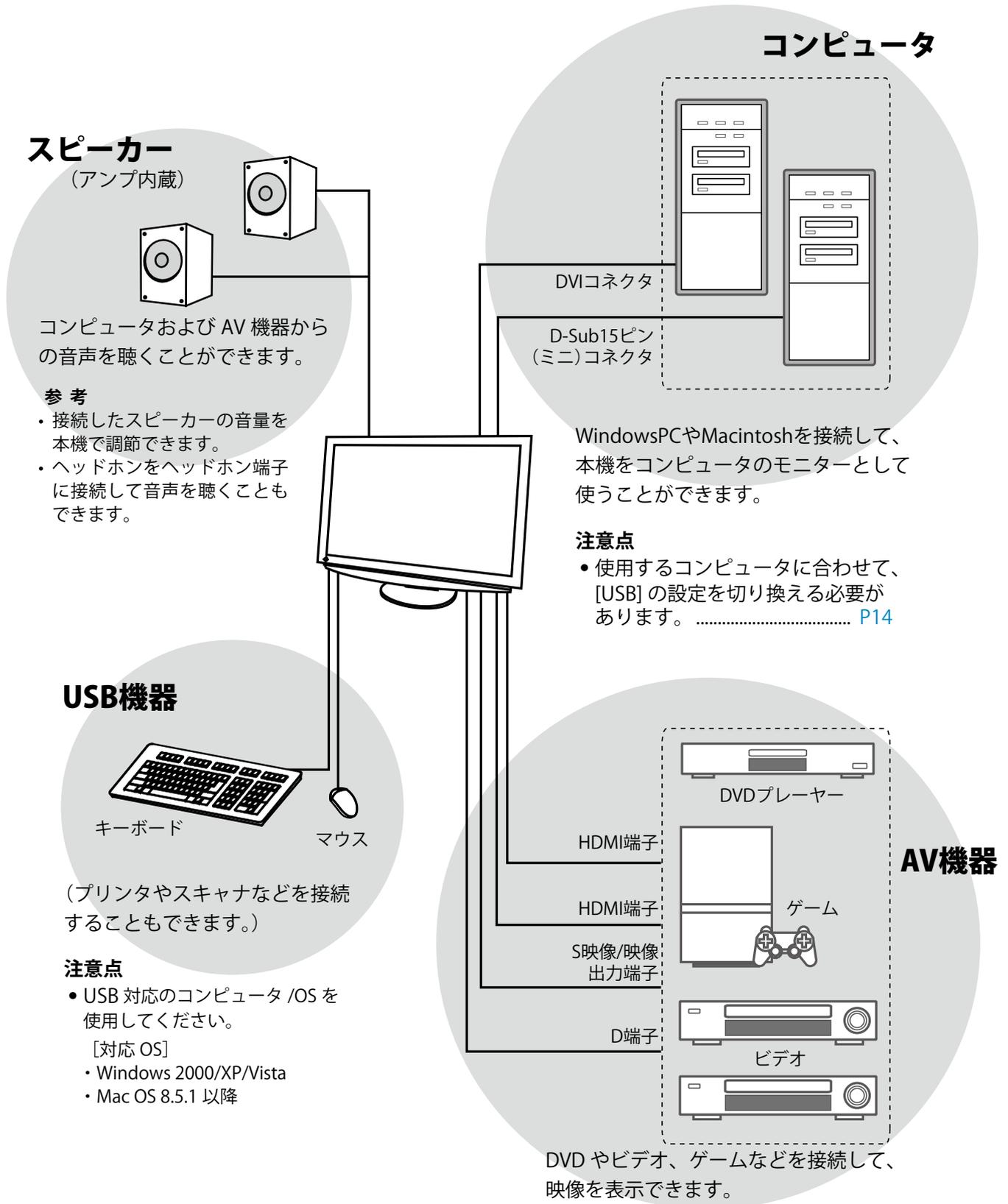
【ビデオ信号入力対応】

- ・HDMI 端子× 2、S 映像 / 映像入力端子× 1、D 端子× 1 (4 系統)

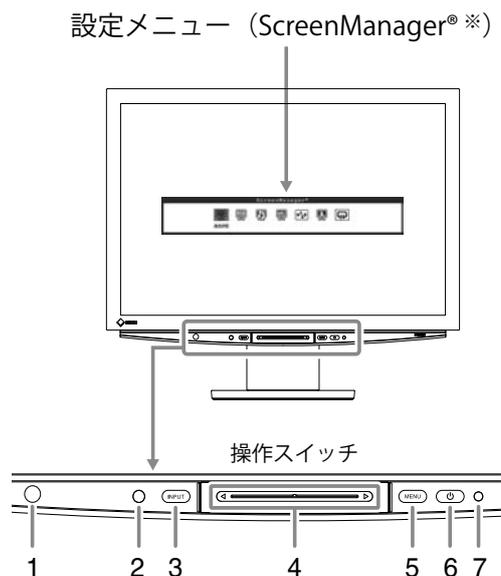
参考

- ・本機はスタンド部分を取り外してアーム (別のスタンド) を取り付けることができます。(「4-1 アーム取付方法」P34 参照)
- ・リモコン操作については、『リモコン操作ガイド』をご覧ください。

使用例



1-2 スイッチ名称



1. リモコン受光部
2. センサー (周囲の明るさを検知)
3. 入力切換スイッチ (INPUT)
4. スライダー
5. メニュースイッチ (MENU)
6. 電源スイッチ (⏻)
7. 電源ランプ

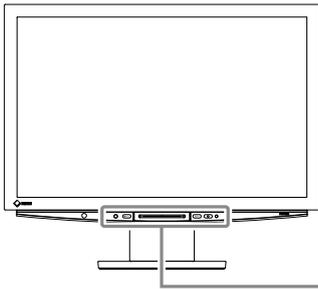
ランプ状態	動作状態
青	画面表示
オレンジ	節電モード
消灯	電源オフ

※ ScreenManager® は当社設定メニューのニックネームです。
(本書では、メニュー内の設定/調整項目名を<>で表しています。例:<カラー調整>)

参考

- ⏻以外でも MENU、INPUT、スライダーに触れるとモニターの電源が入ります。
- 画面表示時の電源ランプ (青) を消すことができます。(「画面表示時の電源ランプを消す」P26 参照)

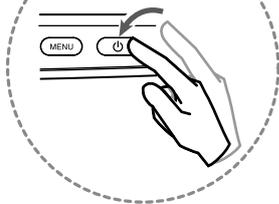
1-3 操作スイッチの使用法



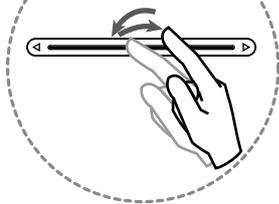
参考

- スイッチの操作には次の3つの方法があります。

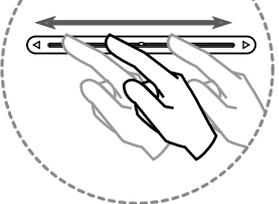
• 触れる



• 軽く叩く



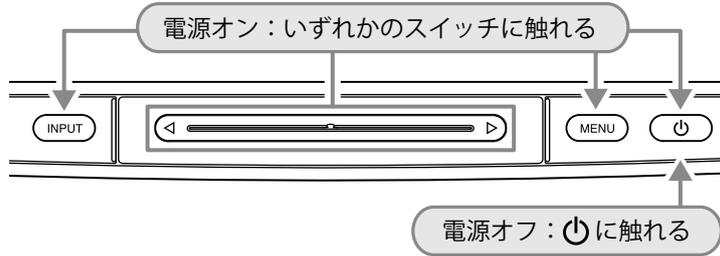
• 左右になぞる



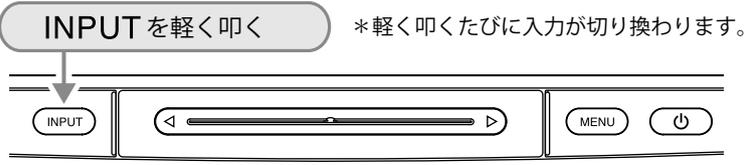
- スライドバーでの操作（項目選択・設定・調整 / 決定・確定）はリモコンでもできます。

※ メニューの内容が変更されていても、信号が入力されていないときは「音量」メニューが表示されます。

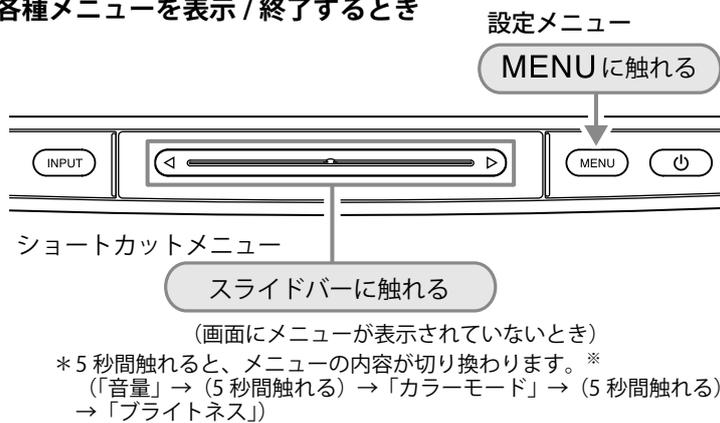
■電源をオン / オフするとき



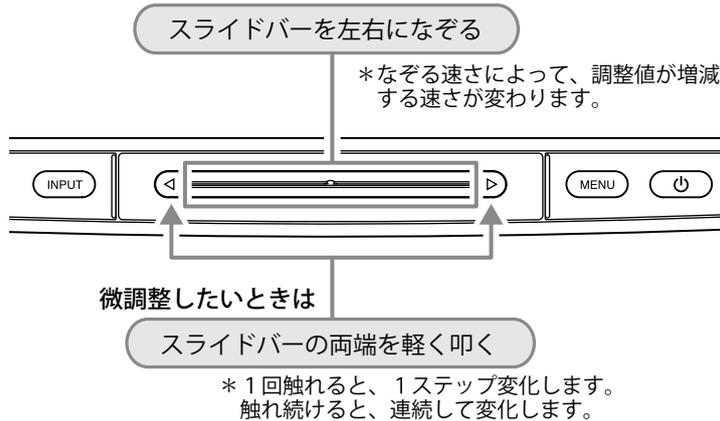
■入力を切り換えるとき



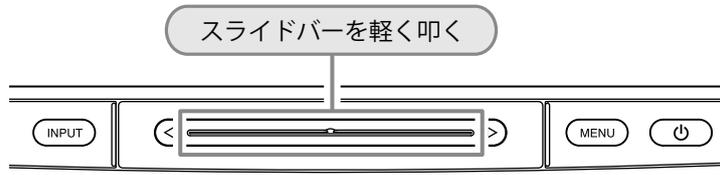
■各種メニューを表示 / 終了するとき



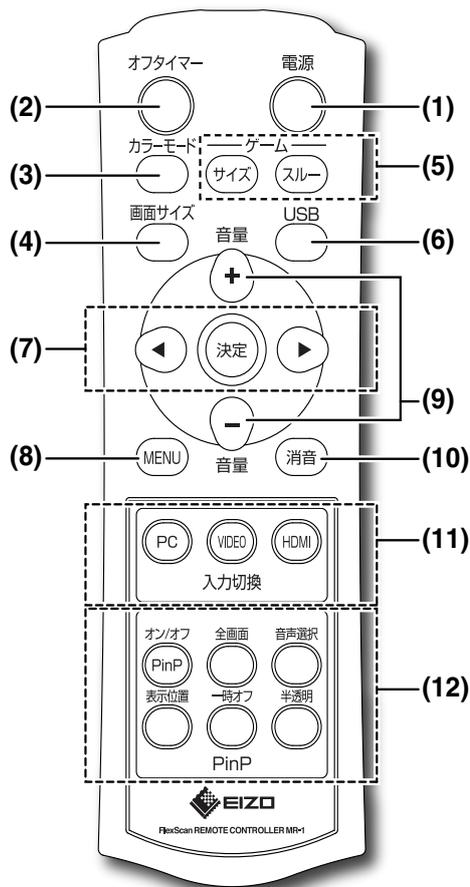
■項目を選択する / 設定・調整をするとき



■項目を決定する / 設定・調整を確定するとき



1 - 4 リモコンボタン機能一覧



参考

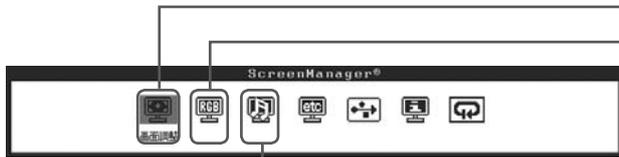
・詳細は『リモコン操作ガイド』をご覧ください。

ボタン	機能	
1 電源	電源を入/切する	
2 オフタイマー	電源が切れるまでの時間を設定する	
3 カラーモード	カラーモードを切り換える	
4 画面サイズ	画面サイズを切り換える	
5 ゲーム	ゲーム画像表示時に使用する (HDMI/VIDEO 入力時)	
	サイズ	画面サイズを切り換える
	スルー	スルーモード (画像表示までの遅延を最小にする) に切り換える
6 USB	PC 使用時に USB 設定を切り換える	
7 ◀、▶、決定	メニューの項目選択や、調整・設定を決定するときに使用する	
8 MENU	設定メニューを表示 / 終了する	
9 音量	音量を調節する	
10 消音	音声を一時的に消す	
11 入力切換	入力を切り換える	
	PC	PC 1/PC 2
	VIDEO	VIDEO 1/VIDEO 2
12 PinP	HDMI	HDMI 1/HDMI 2
	PinP	PinP 表示時に使用する
	オン / オフ	PinP 表示をオン / オフする
	全画面	子画面を全画面で表示する
	音声選択	出力音声 (親画面 / 子画面 / 親・子画面 MIX) を切り換える
	表示位置	子画面の表示位置を切り換える
	一時オフ	子画面の表示だけを一時的に消す
半透明	子画面の透明度合いを設定する	

1 - 5 機能一覧と設定メニュー基本操作方法

画面・カラー・音声を調整したいときは

(コンピュータからアナログ信号を入力している場合のみ：PC 2 入力)



設定メニュー
(操作方法は P13 参照)

音声を調整する

P23 参照



サウンド設定メニュー

- [高音/低音/バランス/音声レベル]を設定する。

1 画面の調整をする

P15 参照



画面調整メニュー

- 画面を自動で調整する [自動画面調整]

2 画面の詳細な調整をする

- 縦縞を消す [クロック] P16 参照
- ちらつきやにじみをとる [フェーズ] P17 参照
- 表示位置のずれを直す [水平ポジション] P17 参照 [垂直ポジション] P17 参照
- 正しい解像度で画面が表示されなかった場合に設定する [解像度] P30 参照
- 色階調を自動調整する [自動レンジ調整] P18 参照
- 画面にノイズが現れた場合に設定する [信号フィルタ] P31 参照

カラー調整をする (簡易調整)

P19 参照



カラー調整メニュー

- カラーモードを選ぶ [カラーモード]

カラー調整をする (詳細調整)

P20 参照

- それぞれのモードに対して、[ブライトネス/黒レベル/コントラスト/色の濃さ/色合い/色温度/輪郭補正/コントラスト拡張/ゲイン/ガンマ/ノイズフィルタ/IP変換]の設定ができます。モードごとに設定できる機能は異なります。

お買い上げ時の設定に戻す

- カラー調整をリセットする [リセット] P28 参照

- ・ []内は機能名です。
- ・ 入力によって設定できる機能が異なります。(「設定メニュー項目一覧」 P37 参照)

便利な設定や調整をしたいときは



設定メニュー
(操作方法は P13 参照)



本体設定メニュー

表示言語を設定する

- メニューの言語を選択する
[言語選択] P27 参照

明るさを自動で調整する

- 周囲と表示映像の明るさに応じて画面の明るさを調整する
[明るさ自動調整] P22 参照

モニターの節電設定をする

- 節電モードからの復帰条件を設定する
[信号検出設定] P25 参照

電源ランプを設定する

- 画面表示時の電源ランプを消す
[電源ランプ] P26 参照

モニターの操作音を設定する

- ビープ音を設定する
[ビープ音] P26 参照

画面サイズを自動で切り換える

- 入力信号のアスペクト情報に応じて画面の表示サイズを自動的に切り換える
[画面サイズ自動切換] P24 参照

画面の表示率を切り換える

- 入力映像の表示範囲を切り換える
[画面表示率] P24 参照

カラースペースを設定する

- 正しく色が表示されない場合に設定する
[カラースペース] P32 参照

フィールド周波数を設定する

- 使用する地域に合わせて設定を切り換える
[フィールド周波数] P32 参照

お買い上げ時の設定に戻す

P28 参照

- すべての設定をリセットする [リセット]

モニター情報をみる

P27 参照



インフォメーションメニュー

- 設定状況、使用時間などを確認する [インフォメーション]

USB 設定を切り換える

P14 参照



USB メニュー

- 使用するコンピュータに合わせて設定を変更する (USB 接続時) [USB]

EIZO ロゴ表示を設定する

P26 参照

- モニター起動時の EIZO ロゴの表示 / 非表示を設定する [EIZO ロゴ表示]

操作スイッチをロックする

P28 参照

- 使用できる機能を制限する [操作ロック]

- ・ [] 内は機能名です。
- ・ 入力によって設定できる機能が異なります。
(「設定メニュー項目一覧」 P37 参照)

便利な設定や調整をしたいときは（つづき）

以下はリモコンでできる設定・調整です。機能の詳細については『リモコン操作ガイド』をご覧ください。

オフタイマー設定をする

- モニターの電源が切れるまでの時間を設定する [オフタイマー]

USB 設定を切り換える

- 使用するコンピュータに合わせて設定を変更する (USB 接続時) [USB]

カラーモードを切り換える

- モニターの用途に応じて表示モードを切り換える [カラーモード]

入力を切り換える

- 表示したい機器が接続されている入力に切り換える [PC/VIDEO/HDMI]

画面サイズを切り換える

- 画面に表示される画像 / 映像のサイズを切り換える [画面サイズ]

音量を調節する

- 音量の大 / 小を調節をする [音量 (+ / -)]
- 音量を一時的に消す [消音]

ゲーム画像の表示設定をおこなう (HDMI/VIDEO 入力時)

- 画面に表示される画像のサイズを切り換える [サイズ]
- スルーモード (画像表示までの遅延を最小にする) に切り換える [スルー]

PinP (ピクチャーインピクチャー) 表示にする

- PC 入力画面 (親画面) の一部に HDMI/VIDEO 入力画面 (子画面) を同時に表示する [オン / オフ]
- 子画面を全画面表示する [全画面]
- 出力音声を選択する [音声選択]
- 子画面の位置を変更する [表示位置]
- 子画面の表示だけを一時的に消す [一時オフ]
- 子画面の透明度合いを設定する [半透明]

・ [] 内はリモコンボタン名です。

設定メニューの基本操作方法

【設定メニューの表示と機能の選択】

- (1) 操作スイッチの MENU に触れます。メインメニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって機能を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。サブメニューが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって機能を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。設定 / 調整メニューが表示されます。
- (4) スライダーを左右になぞって設定 / 調整し、スライダーを指先で軽く叩きます。設定 / 調整が確定します。

【設定メニューの終了】

- (1) 操作スイッチの MENU に触れます。設定メニューが終了します。

参考

- ・ サブメニュー表示がない機能もあります。

第2章 設定と調整をする

2-1 入力を切り換える

● 表示したい機器が接続されている入力に切り換える [入力切換]

[設定方法]

(1) 操作スイッチのINPUTを指先で軽く叩きます。

軽く叩くたびに、入力が切り換わります。

PC 1 → PC 2 → HDMI 1 → HDMI 2 → VIDEO 1 → VIDEO 2 → PC 1 …

■ コンピュータと USB 接続している場合には [USB]

使用するコンピュータの入力に合わせて、[USB] の設定を切り換えてください。

設定	使用状態
PC 1 (デジタル信号)	PC 1 を使用するとき
PC 2 (アナログ信号)	PC 2 を使用するとき

[設定方法]

(1) 設定メニューの< USB >を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。

< USB >メニューが表示されます。

(2) スライダーを左右になぞって「PC 1」/「PC 2」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。

設定が完了します。

[メッセージが表示された場合]

「USBの設定を切り換えると、現在選択中のPCとのUSB接続は切断されます。切り換えを実行しますか?」の確認メッセージが表示されたときは、右の注意点(設定切換時の注意事項)を確認し、手順3に進んでください。

(3) スライダーを左右になぞって「はい」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。

設定が完了します。

参考

- 入力の切り換えはリモコンでもできます。(『リモコン操作ガイド』参照)
- PinP表示時に触れると、子画面の入力が切り換わります。

注意点

- [USB] が適切に設定されていないと、モニターに接続したUSB機器が動作しなかったり、スピーカーから音が出ない場合があります。
- 設定を切り換える際には次の点に注意してください。
 - モニターにUSBメモリなどの記憶装置を接続している場合、データの消失・破損の恐れがあります。記憶装置を取り外してから設定を切り換えてください。
 - 音楽再生アプリケーションなどが起動している場合、設定を元に戻したときに音声が出力されなくなることがあります。アプリケーションを終了してから設定を切り換えてください。

参考

- USB設定の切り換えはリモコンでもできます。(『リモコン操作ガイド』参照)

2 - 2 画面の調整をする (コンピュータからアナログ信号を入力している場合のみ)

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているコンピュータの設定を変更した場合には、画面の調整をしてください。正確に表示されている場合は、調整の必要はありません。

以下の場合には自動画面調整機能がはたらきます。

- ・モニターに今まで接続されたことのない信号が入力された場合
- ・入力信号の解像度やリフレッシュレートを変えた場合で、今までに入力されていない信号の場合

[調整手順]

1 自動画面調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する

[自動画面調整]

- (1) 設定メニューの <画面調整> を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<画面調整>メニューが表示されます。
- (2) <画面調整>メニューで <自動画面調整> を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
「自動画面調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか?」の確認メッセージが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって「はい」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
自動画面調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

- (1) 「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットします。
- (2) ご使用の OS が Windows の場合: ディスクの起動メニューから「画面調整ユーティリティ」を起動します。
ご使用の OS が Windows 以外の場合: 画面調整パターン集を開きます。

- ・画面が正確に表示された場合 → 手順 5 へ
- ・画面が正確に表示されていない場合 → 手順 3 へ

【参考】

- ・デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。画面の調整をする必要はありません。

【注意点】

- ・VGA など低解像度の信号では自動画面調整機能ははたらきません。
- ・調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してから行ってください。

【注意点】

- ・この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- ・一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

【参考】

- ・自動画面調整後に画面が正しい解像度で表示されなかった場合は、入力信号の解像度を手動で設定してください。解像度を設定すると、再度 [自動画面調整] が実行されます。(「第3章 こんなときは」P30 参照)

【参考】

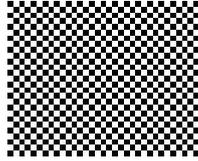
- ・画面調整パターン集の開きかたおよび内容については、ディスク内の Readmeja.txt または「お読みください」ファイルを参照してください。Macintosh をお使いの方はディスクの起動メニューから、直接開くことができます。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動画面調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する

[自動画面調整]

- (1) 「画面調整ユーティリティ」または画面調整パターン集を使用して、パターン1を全画面に表示します。



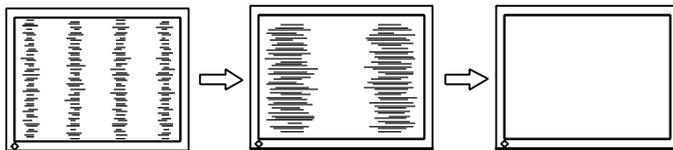
- (2) 設定メニューの<画面調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<画面調整>メニューが表示されます。
- (3) <画面調整>メニューで<自動画面調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
「自動画面調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか？」の確認メッセージが表示されます。
- (4) スライダーを左右になぞって「はい」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
自動画面調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

- ・画面が正確に表示された場合 → 手順5へ
- ・画面が正確に表示されていない場合 → 手順4へ

4 <画面調整>メニューで詳細な調整をします。

● 縦縞を消す [クロック]

- (1) <画面調整>メニューで<クロック>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<クロック>メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって縦縞が消えるように調整し、スライダーを指先で軽く叩きます。
調整が完了します。

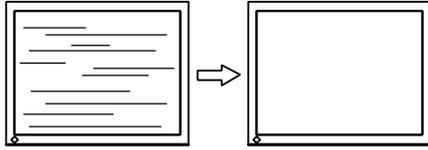


参考

- ・調整が合ったポイントを見逃しやすいので、スライダーはゆっくりになぞって調整するようにしてください。
- ・調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる [フェーズ]」にすみ調整を行ってください。

● ちらつきやにじみをとる [フェーズ]

- (1) <画面調整>メニューで<フェーズ>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<フェーズ>メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって最もちらつきやにじみのない画面に調整し、スライダーを指先で軽く叩きます。
調整が完了します。



● 表示位置のずれを直す [水平ポジション/垂直ポジション]

液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定	画面の状態
水平ポジション	<p>モニターの画面が横方向にずれて表示されているときに、画面の位置を調整します。</p>
垂直ポジション	<p>モニターの画面が縦方向にずれて表示されているときに、画面の位置を調整します。</p>

- (1) <画面調整>メニューで<水平ポジション>/<垂直ポジション>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<水平ポジション>/<垂直ポジション>メニューが表示されます。
- (2) スライダーを左右になぞって表示画面の点線枠の左右/上下部分が表示されるように調整し、スライダーを指先で軽く叩きます。
調整が完了します。

注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

参考

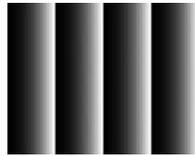
- 調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す [クロック]」に戻り、再度調整を行ってください。
(クロック→フェーズ→ポジション)

5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する [自動レンジ調整]

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調 (0 ~ 255) を表示できるように調整できます。

- (1) 「画面調整ユーティリティ」または画面調整パターン集を使用して、パターン2を全画面に表示します。



- (2) <画面調整>メニューで<自動レンジ調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
「自動レンジ調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか？」の確認メッセージが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって「はい」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
色階調が自動的に調整されます。
- (4) パターン2を閉じます。「画面調整ユーティリティ」を起動している場合は終了します。

2 - 3 カラー調整をする

簡易調整

● カラーモードを選ぶ [カラーモード]

カラーモードを切り換えることにより、モニターの用途に応じた表示モードに設定できます。

[PC 入力時]

表示モード (6 種類) を選択できます。

モード	状 態
テキスト	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。
ピクチャー	写真やイラストなどの画像表示に適しています。
ムービー	動画の再生に適しています。
sRGB	sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
ゲーム (PC)	ゲーム画像の表示に適しています。
カスタム (xxx*)	お好みの設定にすることができます。

* そのとき選択している入力が表示されます。

[HDMI/VIDEO 入力時]

表示モード (5 種類) を選択できます。

モード	状 態
スタンダード	標準的な映像表示に設定されています。
シネマ	映画などの映像に適した表示に設定されています。
ダイナミック	メリハリのあるくっきりとした表示に設定されています。
ゲーム	ゲーム画像に適した表示に設定されています。
カスタム (xxx*)	お好みの設定にすることができます。

* そのとき選択している入力が表示されます。

[設定方法]

- (1) 設定メニューの<カラー調整>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <カラー調整>メニューで<カラーモード>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<カラーモード>メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞってお好みのモードを選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

参考

- カラーモードの切り換えはリモコンでもできます。(『リモコン操作ガイド』参照)
- カラーモードの設定状態は、変更することもできます。(「詳細設定」P20 参照)

詳細調整

● カラーモードの調整 / 設定をする

カラーモードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

[PC 入力時]

○：調整可 ー：調整不可

アイコン	機能名	カラーモード					
		テキスト	ピクチャー	ムービー	sRGB	ゲーム (PC)	カスタム (xxx※)
	ブライトネス	○	○	○	○	○	○
	黒レベル	ー	ー	ー	ー	○	○
	コントラスト	ー	○	○	ー	○	○
	色の濃さ	○	○	○	ー	○	○
	色合い	○	○	○	ー	○	○
	色温度	○	○	○	ー	○	○
→ 詳細設定							
	輪郭補正	ー	○	○	ー	○	○
	コントラスト拡張	ー	○	○	ー	○	○
	ゲイン	ー	ー	ー	ー	○	○
	ガンマ	ー	ー	ー	ー	○	○
	リセット	○	○	○	○	○	○

[HDMI/VIDEO 入力時]

○：調整可 ー：調整不可

アイコン	機能名	カラーモード				
		スタンダード	シネマ	ダイナミック	ゲーム	カスタム (xxx※)
	ブライトネス	○	○	○	○	○
	黒レベル	○	○	○	○	○
	コントラスト	○	○	○	○	○
	色の濃さ	○	○	○	○	○
	色合い	○	○	○	○	○
	色温度	○	○	○	○	○
→ 詳細設定						
	輪郭補正	○	○	○	○	○
	コントラスト拡張	○	○	○	○	○
	ガンマ	ー	ー	ー	○	○
	ノイズフィルタ	ー	ー	ー	○	○
	I/P 変換	ー	ー	ー	○	○
	リセット	○	○	○	○	○

※ そのとき選択している入力が表示されます。

注意点

- コンピュータのアナログ信号のカラー調整を行うときは、まず[自動レンジ調整]を行ってください。(「色階調を自動調整する」P18参照)
- 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してから行ってください。
- <カラー調整>メニューの<リセット>を選択すると、現在設定しているカラーモードの色調のみ初期設定(工場出荷状態)に戻ります。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 各モードでは調整できる機能が異なります。左の項目一覧を参照してください。

● 調整内容

メニュー	内 容	調整範囲
ブライツネス 	画面全体の明るさを好みの状態に調整します。	0 ~ 100%
黒レベル 	黒レベルを調整します。 参考 ・ PC 入力では RGB（赤、緑、青）個別の調整となり、HDMI/VIDEO 入力では RGB 一括の調整となります。	0 ~ 100%
コントラスト 	コントラストを調整します。	0 ~ 100% 50%ですべての色階調を表示できます。
色の濃さ 	色を鮮やかにします。 注意点 ・ 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。	-50 ~ 50
色合い 	肌色などを好みの色合いにします。 注意点 ・ 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。	-50 ~ 50
色温度 	色温度を選択します。 参考 ・ 調整値を「オフ」に設定すると、パネル本来の色温度になります。 ・ 「K」表示は調整値の目安としてご利用ください。	4000K ~ 10000K まで 500K 単位で選択します。(9300K 含む)
輪郭補正 	画像の輪郭を強調したりぼかしたりします。	-5 ~ 5
コントラスト 拡張 	画像のコントラスト感を変更させることができます。	有効 / 無効
ゲイン 	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にします。	0 ~ 100% 赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、任意の色調を作ります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。
ガンマ 	ガンマ値を調整します。 参考 ・ ガンマ機能についてはデジタル信号入力でのご使用をおすすめします。	1.8/2.0/2.2/2.4
ノイズ フィルタ 	細かいノイズや MPEG 圧縮時のノイズを軽減します。 注意点 ・ 設定によっては、画面が見づらくなる場合があります。	強 / 弱 / 無効
I/P 変換 	I/P（インターレース - プログレッシブ）変換の処理方法を設定します。	動画（2-3） / 動画（2-3/2-2） / 動画 / 静止画 表示する映像に応じて選択してください。（「参考」参照）
リセット 	選択しているカラーモードのカラー調整状態をすべて初期状態に戻します。	

参考

- ・ 「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。

参考

- ・ [I/P 変換] は以下を参考に設定してください。
 - 「動画（2-3）」
：テレビ放送全般、映画など
 - 「動画（2-3/2-2）」
：映画、CG など
 - 「動画」：テレビドラマなど
 - 「静止画」：写真などの静止画

【調整 / 設定方法】

- (1) 設定メニューの<カラー調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) <カラー調整>メニューで<カラーモード>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (3) <カラーモード>メニューで調整 / 設定したいカラーモードを選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (4) <カラー調整>メニューで調整 / 設定したい機能を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
選択した機能メニューが表示されます。
- (5) スライダーを左右になぞって調整 / 設定し、スライダーを指先で軽く叩きます。
調整 / 設定が完了します。

● 明るさを自動で調整する [明るさ自動調整]

モニター下部のセンサーが検知した周囲の明るさと、表示映像の明るさに応じて、自動で画面の明るさを調整します。

【設定方法】

- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<明るさ自動調整>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<明るさ自動調整>メニューが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって「強」 / 「標準」 / 「無効」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

【参考】

- ・ <カラーモード>メニューおよび<ブライトネス>メニューは、操作スイッチのショートカットメニューでも表示できます。(P9 参照)

【参考】

- ・ センサーをかくさないようにしてください。
- ・ 「標準」の設定で画面が明るく感じるときは「強」にしてください。

2 - 4 音声を調整する

● [高音 / 低音 / バランス / 音声レベル] を設定する

メニュー	内 容	調整範囲
高音 	高音域の強弱を調整します。	-15 ~ 15
低音 	低音域の強弱を調整します。	-15 ~ 15
バランス 	左右の音量バランスを調整します。	-32 ~ 32
音声レベル 	入力する音声のレベルを調整します。	-3 ~ 3

[設定方法]

- (1) 設定メニューの<サウンド設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <サウンド設定>メニューで調整したい機能を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
選択した機能メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって調整し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
調整が完了します。

参考

- [音声レベル]以外の音声の調整はスピーカーとヘッドホンで個別に調整できます。ヘッドホンの調整はヘッドホンを接続しているときに行ってください。
- 外部機器の平均的音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。例えば、VIDEO 1 と VIDEO 2 で音量差が大きくなったときは、音量が小さいほうの音声レベルの設定を上げると、音量差を軽減することができます。

注意点

- 音声の設定によっては、音がひずむ場合があります。その際は、音量を下げてください。ひずみが解消されることがあります。

2 - 5 画面サイズを自動で切り換える (HDMI/VIDEO 入力時のみ)

● 入力信号のアスペクト情報に応じて画面の表示サイズを自動的に切り換える [画面サイズ自動切換]

AV 機器からの入力信号のアスペクト情報に応じて、画面の表示サイズを自動で切り換えることができます。

[設定方法]

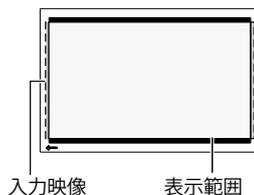
- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<画面サイズ自動切換>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<画面サイズ自動切換>メニューが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって「有効」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

2 - 6 画面の表示率を切り換える (HDMI/VIDEO 入力時のみ)

● 入力映像の表示範囲を切り換える [画面表示率]

画面は通常、入力映像の上下左右の一部を切り取って表示されています(オーバーキャン)。この入力映像の表示範囲を切り換えることができます。

(例:「16:9」のとき)



[設定方法]

- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<画面表示率>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<画面表示率>メニューが表示されます。
- (3) スライダーを左右になぞって「標準」/「フル」/「全画面」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

設定	状態
標準	通常の表示(入力映像の上下左右の一部を切り取った状態)で画面を表示します。
フル	入力映像のほぼすべてを画面に表示します。
全画面	16:9 サイズの映像を、アスペクト比を保ったまま画面全体に表示します。映像の左右が一部切れます。 (4:3/レターボックスの映像は、「全画面」を選択していても、「フル」と同じ状態で表示されます。)

参考

- 初期設定は「有効」となっています。画面サイズを自動で切り換えたくない場合は、設定を「無効」にしてください。
- 画面サイズは、自動で切り換えられた後、手で切り換えることができます。(『リモコン操作ガイド』参照)

参考

- 「標準」「フル」を選択した場合、入力信号のアスペクト比によって、左右または上下に黒帯が表示されることがあります。
- 「フル」を選択したときに、画面の周辺部にノイズが見える場合には「標準」を選択してください。

入力信号：アスペクト比 (フォーマット)	4:3 (480i/480p /576i/576p)	レターボックス (480i/480p /576i/576p)	16:9	
			(480i/480p/ 576i/576p)	(1080i/720p/ 1080p)
画面表示率				
標準				
フル				
全画面				

2 - 7 モニターの節電設定をする

● 節電モードからの復帰条件を設定する [信号検出設定]

現在選択中の入力に入力信号が無くなったときのモニターの動き、および節電モードから復帰する条件を設定できます。

設定	無信号になったとき	節電モードからの復帰条件
すべての入力	入力信号が無くなってから5秒が経過すると、節電モードに移行します。	すべての入力を監視し、無信号状態から信号を検出すると、信号を検出した入力通常状態に戻ります。
現在の入力		節電モードに入ったときに選択していた入力を監視し、無信号状態から信号を検出すると、選択中の入力通常状態に戻ります。
無効	入力信号が無くなってから45秒が経過すると、電源オフ状態になります。	

[設定方法]

- 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
- <本体設定>メニューで<信号検出設定>を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
<信号検出設定>メニューが表示されます。
- スライダーを左右になぞって「すべての入力」/「現在の入力」/「無効」を選択し、スライダーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

注意点

- モニターは入力信号の変化を監視しています。節電モードに入る前から信号が入力されている場合は復帰条件とはなりません。
- PinP表示時は節電モードには移行しません。
- 設定を「すべての入力」にすると、接続する外部機器などによっては、節電モードから復帰できないことがあります。その場合は、設定を変更するか、スライダーに触れてから表示したい機器の入力を選択してください。

注意点

- 電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが節電モードの状態に入っても、USBポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。

2 - 8 電源ランプ / EIZO ロゴ表示を設定する

● 画面表示時の電源ランプを消す [電源ランプ]

画面表示時の電源ランプ（青）を消すことができます。

[設定方法]

- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<電源ランプ>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<電源ランプ>メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって「オフ」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

● モニター起動時の EIZO ロゴの表示 / 非表示を設定する [EIZO ロゴ表示]

本機の電源を入れたときに、EIZO ロゴが画面中央に表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り換えができます。

[設定方法]

- (1)  に触れて、いったん電源を切ります。
- (2)  に約 3 秒触れます。
ロゴが表示されなくなります。

[解除方法]

- (1)  に触れて、電源を切ります。
- (2)  に約 3 秒触れます。
再びロゴが表示されます。

2 - 9 モニターの操作音を設定する

● ビープ音を設定する [ビープ音]

スイッチを操作するときの操作音や接続エラー音などを鳴らすか鳴らさないか設定できます。

音の種類	こんなときに鳴ります
ピッという短い音	・ 基本的なスイッチ操作をした際
ピーという長い音	・ 操作ロック機能のオン / オフを切り換えた際 ・ EIZO ロゴ表示機能のオン / オフを切り換えた際 ・ INPUT に約 2 秒触れて PinP 表示機能のオン / オフを切り換えた際 ・ スライドバーで設定 / 調整を決定する際
ピッピッピッピッという断続する音	・ モニターの接続が正しく行われていない場合 ・ コンピュータ、AV 機器の電源が入っていない場合 ・ 仕様範囲外の周波数を受信している場合

参考

- ・ 初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯します。

参考

- ・ 初期設定ではロゴが表示されません。

【設定方法】

- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<ビープ音>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<ビープ音>メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって「オン」/「オフ」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

2 - 10 モニター情報をみる

● 設定状況、使用時間などを確認する [インフォメーション]

設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間が確認できます。

- (1) 設定メニューの<インフォメーション>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<インフォメーション>メニューが表示されます。
- (2) 続けてスライドバーを指先で軽く叩き、設定状況などを確認します。

参考

- 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

2 - 11 表示言語を設定する

● メニューの言語を選択する [言語選択]

設定メニューの言語が選択できます。

選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 日本語 / 中国語（簡体） / 中国語（繁体）

【設定方法】

- (1) 設定メニューの<本体設定>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
- (2) <本体設定>メニューで<言語選択>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
<言語選択>メニューが表示されます。
- (3) スライドバーを左右になぞって言語を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。
設定が完了します。

2 - 12 操作スイッチをロックする

● 使用できる機能を制限する [操作ロック]

一度設定 / 調整した状態を変更しないように操作スイッチをロックし、使用できる機能を制限することができます。

[設定方法]

(1)  に触れて、いったん電源を切ります。

(2) MENU に約 3 秒触れます。

操作ロックがかかり（「操作ロック：オン」と表示）画面が表示されます。

[解除方法]

(1)  に触れて、電源を切ります。

(2) MENU に約 3 秒触れます。

操作ロックが解除され（「操作ロック：オフ」と表示）画面が表示されます。

2 - 13 お買い上げ時の設定に戻す

● カラー調整をリセットする [リセット]

現在設定しているカラーモードの色調のみ初期設定（工場出荷状態）に戻します。

[設定方法]

(1) 設定メニューの<カラー調整>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。

(2) <カラー調整>メニューで<リセット>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。

「現在のカラー設定はリセットされます。」の確認メッセージが表示されます。

(3) スライドバーを左右になぞって「リセット」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。

設定が完了します。

● すべての設定をリセットする [リセット]

[フィールド周波数]、[USB]、[音量] 以外の設定 / 調整状態をすべて初期設定（工場出荷状態）に戻します。

[設定方法]

(1) 設定メニューの<リセット>を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。

「フィールド周波数、USB 以外の設定がリセットされます。」の確認メッセージが表示されます。

(2) スライドバーを左右になぞって「リセット」を選択し、スライドバーを指先で軽く叩きます。

設定が完了します。

参考

• ロックした状態でも次の操作は可能です。

-  による電源オン / オフ

- INPUT、MENU、スライドバーによる電源オン

- 操作ロック機能のオン / オフ

- EIZO ロゴ表示機能のオン / オフ

(P26 参照)

参考

• 初期設定値は、「主な初期設定（工場出荷設定）値」（P38 参照）を参照してください。

第3章 こんなときは

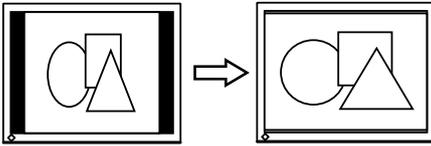
症状に対する処置を行っても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- ・ 画面が表示されない場合 → 【PC 入力時】項目 1、2 【HDMI/VIDEO 入力時】項目 1、2
- ・ 画面に関する症状 → 【共通】項目 1～6 【PC 入力時】項目 3～7 【HDMI/VIDEO 入力時】項目 3
- ・ その他の症状 → 【共通】項目 7～12 【PC 入力時】項目 8 【HDMI/VIDEO 入力時】項目 4、5
- ・ USB に関する症状 → 【PC 入力時】項目 9

【共通】

症 状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	・ <カラー調整>メニューの<ブライツネス>または<コントラスト>を調整してみてください。(LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。)
2. 残像が現れる	・ 長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定したり、オフタイマー機能を活用してください。 ・ この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
3. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	・ これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
4. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	・ 画面全体に白い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
5. 画面にノイズが現れる	・ [コントラスト拡張]、[輪郭補正]機能を利用している場合、表示パターンによっては画面の階調異常やノイズなど、正常な画面が表示されないことがあります。
6. 文字に色がつく	・ [輪郭補正]が強くかかっていると文字に色がつく場合があります。
7. 音が出ない / 音量が調節できない	・ 音声ケーブルは正しく接続されていますか。 ・ ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されていませんか。 ・ 音量を確認してみてください。
8. 接続機器によって音量に差がある	・ <サウンド設定>メニューの<音声レベル>で接続機器間の音量差を軽減してみてください。(P23 参照)
9. 突然電源が切れた	・ [オフタイマー]機能を使っていませんか。[オフタイマー]の設定を確認してみてください。(『リモコン操作ガイド』参照) ・ <本体設定>メニューの<信号検出設定>を「無効」に設定していませんか？(P25 参照)
10. 選択できないメニュー項目がある	・ 設定できるメニューの項目は入力ごとに異なりますので設定メニュー項目一覧を確認してみてください。(「設定メニュー項目一覧」P37 参照)
11. 操作スイッチが効かない	・ 操作スイッチがロックされていないか確認してみてください。(P28 参照)
12. リモコンが効かない	・ リモコン受光部に向けていますか。 ・ リモコン受光部との間に障害物はありませんか。 ・ 乾電池が消耗していませんか。 ・ 乾電池を入れる方向を間違っていないか。

【PC 入力時】

症 状	原因と対処方法
<p>1. 画面が表示されない</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：オレンジ色 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：青色 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく差し込まれていますか。 リモコンの  を押すか、または操作スイッチの  に触れてみてください。 リモコンの入力切換 () または操作スイッチの INPUT で入力信号を切り換えてみてください。 マウス、キーボードを操作してみてください。 コンピュータの電源を入れてみてください。 コンピュータが正しく接続されているか確認してみてください。 ゲインの設定を確認してみてください。
<p>2. 以下のようなメッセージが表示される</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。(範囲外の信号は赤色で表示されます。) <p>例：</p> <div data-bbox="343 772 630 958" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>PC 1</p> <p>信号エラー</p> <p>f D: 162.0MHz</p> <p>f H: 75.0kHz</p> <p>f U: 60.0 Hz</p> </div>	<p>この表示はモニターが正常に機能しているも、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
<p>3. 自動画面調整を実行しても、正しい解像度で画面が表示されない</p> <ul style="list-style-type: none"> 解像度が正しく認識されず、画像が縮んだり伸びたりして表示される <div data-bbox="279 1142 710 1288" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <画面調整>メニューの<解像度>で入力信号の解像度と<解像度>メニューの解像度が合うように設定してみてください。解像度を設定すると、自動で[自動画面調整]が実行されます。
<p>4. 画像がずれている</p> <div data-bbox="391 1355 582 1496" style="border: 1px solid black; width: 120px; height: 63px; margin: 0 auto;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> <画面調整>メニューの<水平 / 垂直ポジション>で調整してみてください。(P17 参照) ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
<p>5. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている</p> <div data-bbox="295 1556 678 1702" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <画面調整>メニューの<クロック>で調整してみてください。(P16 参照) <p>解像度を 1920 × 1200 に設定しているときは、入力している信号によって<クロック>の調整をしても症状が改善しないことがあります。その際には解像度を 1600 × 1200、1920 × 1080 などに変更してみてください。</p>
<p>6. 画面全体がちらつく、にじむように見える</p> <div data-bbox="399 1803 566 1926" style="border: 1px solid black; width: 105px; height: 55px; margin: 0 auto;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> <画面調整>メニューの<フェーズ>で調整してみてください。(P17 参照)

症 状	原因と対処方法
7. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> • アナログ信号の場合、＜画面調整＞メニューの＜信号フィルタ＞で設定を切り換えてみてください。入力している信号によっては、症状が改善されない場合があります。その場合には、デジタル信号入力でのご使用をおすすめします。 • HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
8. 音が出ない / 音量が調節できない	<ul style="list-style-type: none"> • [USB] の設定は選択しているコンピュータの入力と合っていますか。
9. 接続した USB 機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • お使いのコンピュータとモニターのアップストリームに USB ケーブルが正しく差し込まれていますか。 • [USB] の設定は選択しているコンピュータの入力と合っていますか。(P14 参照) • 別の USB ポート (ダウンストリーム) に差し換えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。) • 次の動作を試してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> • コンピュータを再起動してみる • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみる • モニター (USB ハブ) に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。(各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。) • Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。)

【HDMI/VIDEO 入力時】

症 状	原因と対処方法
<p>1. 画面が表示されない</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない 電源ランプが点灯：オレンジ色 電源ランプが点灯：青色 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく差し込まれていますか。 リモコンの  を押すか、または操作スイッチの  に触れてみてください。 リモコンの入力切換 () / () または操作スイッチの INPUT で入力信号を切り換えてみてください。 AV 機器の電源を入れてみてください。 AV 機器が正しく接続されているか確認してみてください。 <p>[HDMI 1/HDMI 2 入力の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> <本体設定>メニューの<フィールド周波数>で設定を切り換えてみてください。
<p>2. 以下のようなメッセージが表示される</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が本機の仕様に対応していません。 <p>例：</p> <div data-bbox="338 813 630 1005" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>HDMI 1</p> <p>信号エラー</p> </div>	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <p>[HDMI 1/HDMI 2 入力の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続している機器の取扱説明書を参照し、デジタル信号のフォーマットを確認してください。(P35 参照)
<p>3. 画面の色がおかしい</p>	<p>[HDMI 1/HDMI 2 入力の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> <本体設定>メニューの<カラースペース>で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください。（通常は「自動」を選択してください。）
<p>4. ビデオ機器を接続した場合に、早送り / 早戻しをすると映像が乱れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本機の機構上、多少乱れが出る場合があります。故障ではありません。
<p>5. 音が出ない / 音量が調節できない</p>	<p>[HDMI 1/HDMI 2 入力の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続した機器の対応フォーマットを確認してみてください。本機の音声入力のフォーマットについては P35 を参照ください。

● メッセージ一覧

画面に表示される主なメッセージを説明します。

メッセージ	内 容
「自動画面調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか？」	[自動画面調整] を実行するときに表示されます。
「自動レンジ調整を行うと現在の設定は失われます。調整を実行しますか？」	[自動レンジ調整] を実行するときに表示されます。
「現在のカラー設定はリセットされます。」	<カラー調整>メニューの<リセット>を実行するときに表示されます。 現在選択しているカラーモードの設定をお買い上げ時の設定に戻します。
「フィールド周波数を変更すると、画面が表示されなくなる場合があります。設定を切り換えますか？」	[フィールド周波数] の設定を変更するときに表示されます。
「USB の設定を切り換えると、現在選択中の PC との USB 接続は切断されます。切り換えを実行しますか？」	[USB] の設定を変更するときに表示されます。 ・ 次の場合は設定を切り換えしないでください。 ー モニターに USB メモリなどの記憶装置を接続している場合 データの消失・破損の恐れがあります。記憶装置を取り外してから設定を切り換えてください。 ー 音楽再生アプリケーションが起動している場合 設定を元に戻したときに音声が出力されなくなることがあります。アプリケーションを終了してから設定を切り換えてください。
「まもなく電源が切れます。 オフタイマーを解除するにはスライドバーに触れてください。」	オフタイマー設定時、電源が切れる 1 分前から電源が切れるまで表示されます。 メッセージ表示中にスライドバーに触れるとオフタイマーを解除し、メッセージは消えます。
「フィールド周波数、USB 以外の設定がリセットされます。」	設定メニューの [リセット] を実行するときに表示されます。[フィールド周波数]、[USB]、[音量] 以外の設定をすべてお買い上げ時の設定に戻します。
「この音声信号では音量の調整はできません。」 (HDMI 1/HDMI 2 入力の場合)	本機が対応していない音声信号を入力しているときに、リモコンの音量ボタンを押したり、音量のショートカットメニューを表示しようとしたらすると表示されます。この場合、音声は出力されません。

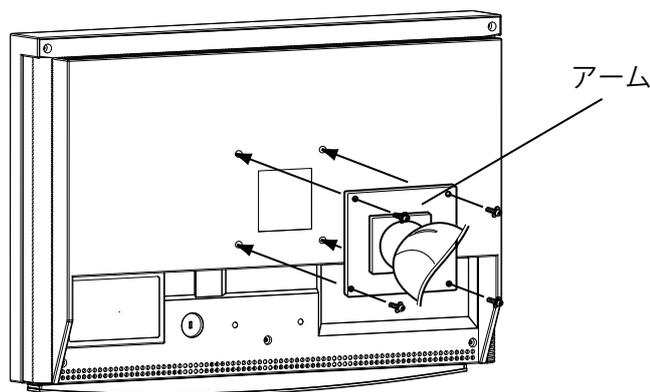
第4章 ご参考に

4-1 アーム取付方法

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。アームまたはスタンドは当社オプション品をご利用ください。

[取付方法]

- 1** 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
- 2** スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ4箇所を取り外します。
- 3** モニターをアーム（またはスタンド）に取り付けます。
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



【注意点】

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものをお選びください。取付には本機に付属しているM4×12mmネジをご使用ください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100mm×100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンド取付時、本機の可動範囲（チルト角）は以下のとおりです。この範囲外で本機を使用しないでください。
 - 上60° 下45°
- モニターを縦方向に回転させないでください。
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

4 - 2 仕様

パネル	液晶パネル	61cm (24.1) 型カラー TFT、アンチグレア 視野角：上下 178°、左右 178° CR ≥ 10		
	ドットピッチ	0.270mm		
	解像度	1920 ドット × 1200 ライン		
	最大表示色	約 1677 万色：8bit 対応 (10 億 6433 万色中 /10bit-LUT)		
	表示サイズ	518.4mm (水平) × 324.0mm (垂直)		
PC 入力	デジタル信号入力 (PC 1)	入力端子	DVI-D × 1	
		水平走査周波数	31.5 ~ 76kHz：各プリセット信号 ± 1kHz	
		垂直走査周波数	59 ~ 61Hz：各プリセット信号 ± 1Hz (VGA TEXT 69 ~ 71Hz) (720p/1080p ※ 1 時は 49 ~ 51Hz も対応)	
		ドットクロック(最大)	162MHz	
		信号伝送方式	TMDS (Single Link)	
	アナログ信号入力 (PC 2)	入力端子	D-Sub15 ピン (ミニ) × 1	
		水平走査周波数	31.5 ~ 80kHz：各プリセット信号 ± 1kHz	
		垂直走査周波数	55 ~ 76Hz：各プリセット信号 ± 1Hz (720p/1080p ※ 1 時は 49 ~ 51Hz も対応)	
		ドットクロック(最大)	162MHz	
		入力同期信号	セパレート、TTL、正 / 負極性	
		入力映像信号	アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75 Ω)	
		ビデオ信号メモリー	50 種 (プリセット 34 種)	
	音声入力	USB 通信		
	プラグ & プレイ機能	VESA DDC 2B		
HDMI 入力	HDMI 入力※ 2 (HDMI 1/HDMI 2)	入力端子	HDMI TypeA × 2	
		対応フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> • 映像信号 - 525i (480i) / 525p (480p) / 1125i (1080i) / 750p (720p) : 60Hz、 1125p (1080p) : 60Hz / 24Hz - 625i (576i) / 625p (576p) / 1125i (1080i) / 750p (720p) : 50Hz、 1125p (1080p) : 50Hz / 24Hz • 音声信号 - 2ch リニア PCM (32kHz / 44.1kHz / 48kHz / 88.2kHz / 96kHz / 176.4kHz / 192kHz) 	
VIDEO 入力	S 映像 / 音声入力 (VIDEO 1)	入力端子	<ul style="list-style-type: none"> • 映像：DIN ミニ 4 ピン × 1 • 音声：ピンジャック × 1 (映像入力と共有) 	
		信号入力レベル (映像)	Y : 1.0Vp-p/75 Ω、C : 0.28Vp-p/75 Ω	
	映像 / 音声入力 (VIDEO 1)	入力端子	<ul style="list-style-type: none"> • 映像：ピンジャック × 1 • 音声：ピンジャック × 1 (S 映像入力と共有) 	
		信号入力レベル (映像)	1.0Vp-p/75 Ω	
	コンポーネント映像 / 音声入力 (VIDEO 2)	入力端子	<ul style="list-style-type: none"> • 映像：D 端子 × 1 • 音声：ピンジャック × 1 	
		対応フォーマット (映像)	[D4 対応] - 525i (480i) / 525p (480p) / 1125i (1080i) / 750p (720p) : 60Hz	
		信号入力レベル (映像)	Y : 1.0Vp-p/75 Ω、Cb,Cr : 0.7Vp-p/75 Ω	

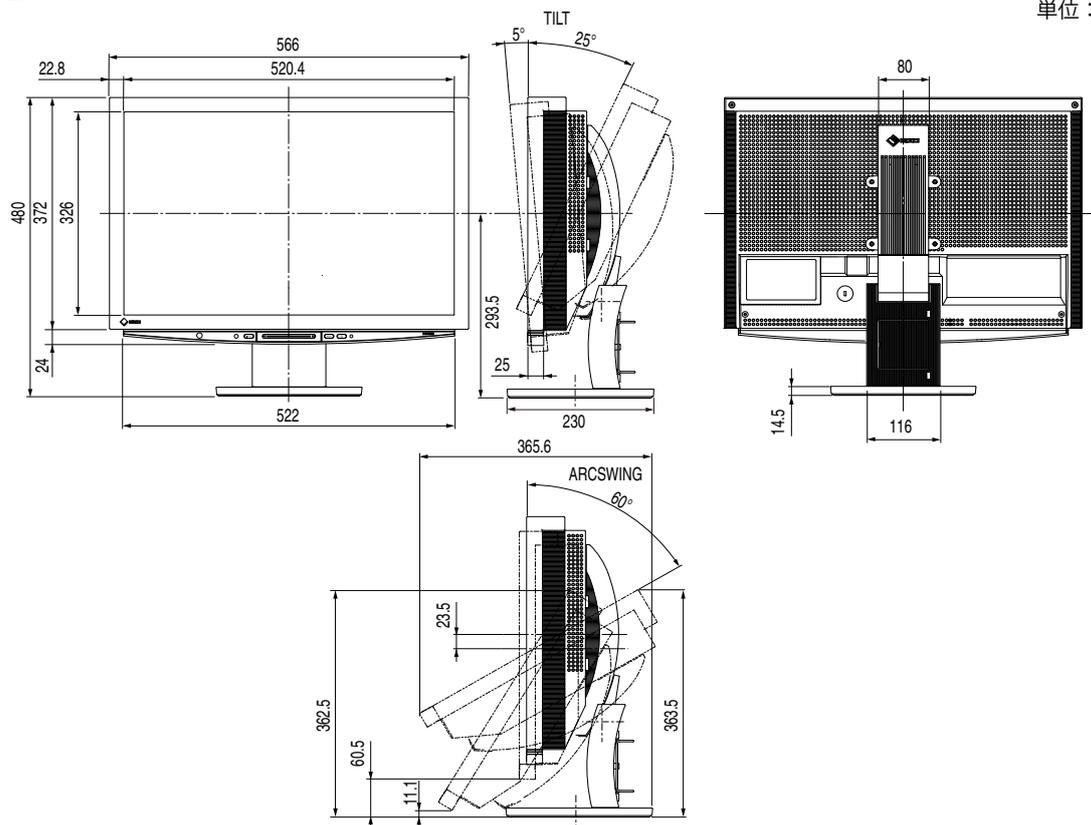
音声出力	音声出力端子	Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1
	ヘッドホン出力端子	Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1
USB	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	ポート	アップストリーム× 2、ダウンストリーム× 2
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、1.1A
消費電力	画面表示時	110W 以下 (USB 機器接続時) 100W 以下 (USB 機器未接続時)
	節電モード時	・ <信号検出設定>が「すべての入力」の場合： 7W 以下 (入力未信号時、USB 機器未接続時) ・ <信号検出設定>が「現在の入力」の場合： 2W 以下 (PC 入力選択時、入力未信号時、USB 機器未接続時)
	電源スイッチオフ時	1W 以下
寸法	本体	566mm (幅) × 362.5 ~ 480mm (高さ) × 230mm (奥行き)
	本体 (スタンドなし)	566mm (幅) × 396mm (高さ) × 92.3mm (奥行き)
質量	本体	約 10.3kg
	本体 (スタンドなし)	約 7.9kg
環境条件	温度	動作温度範囲：0°C ~ 35°C 輸送および保存温度範囲：-20°C ~ 60°C
	湿度	動作湿度範囲：30% ~ 80% R.H. (非結露状態) 輸送および保存湿度範囲：30% ~ 80% R.H. (非結露状態)
	気圧	動作気圧範囲：700hPa. ~ 1060hPa. 輸送および保存気圧範囲：200hPa. ~ 1060hPa.

※1 マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途

※2 本機はコンピュータからの入力および CEC (Consumer Electronics Control) には対応していません。また、カラースペース (色空間) の xvYCC 規格には対応していません。

外観寸法

単位：mm



設定メニュー項目一覧

項目		PC 1	PC 2	HDMI 1	HDMI 2	VIDEO 1	VIDEO 2	PinP	
画面調整	自動画面調整	—	○	—	—	—	—	△※	
	自動レンジ調整	—	○	—	—	—	—	△※	
	クロック	—	○	—	—	—	—	△※	
	フェーズ	—	○	—	—	—	—	△※	
	水平ポジション	—	○	—	—	—	—	△※	
	垂直ポジション	—	○	—	—	—	—	△※	
	解像度	—	○	—	—	—	—	△※	
	信号フィルタ	—	○	—	—	—	—	△※	
カラー調整	カラーモード	○	○	○	○	○	○	○	
	ブライトネス	○	○	○	○	○	○	○	
	黒レベル	○	○	○	○	○	○	○	
	コントラスト	○	○	○	○	○	○	○	
	色の濃さ	○	○	○	○	○	○	○	
	色合い	○	○	○	○	○	○	○	
	色温度	○	○	○	○	○	○	○	
	詳細設定	輪郭補正	○	○	○	○	○	○	○
		コントラスト拡張	○	○	○	○	○	○	○
		ゲイン	○	○	—	—	—	—	○
		ガンマ	○	○	○	○	○	○	○
ノイズフィルタ		—	—	○	○	○	○	—	
I/P 変換		—	—	○	○	○	○	—	
リセット	○	○	○	○	○	○	○		
サウンド設定	高音	○	○	○	○	○	○	○	
	低音	○	○	○	○	○	○	○	
	バランス	○	○	○	○	○	○	○	
	音声レベル	—	—	○	○	○	○	—	
本体設定	言語選択	○	○	○	○	○	○	○	
	明るさ自動調整	○	○	○	○	○	○	○	
	信号検出設定	○	○	○	○	○	○	○	
	電源ランプ	○	○	○	○	○	○	○	
	ビープ音	○	○	○	○	○	○	○	
	画面サイズ自動切替	—	—	○	○	○	○	—	
	画面表示率	—	—	○	○	○	○	—	
	カラースペース	—	—	○	○	—	—	—	
	フィールド周波数	—	—	○	○	—	—	—	
USB	○	○	○	○	○	○	○		
インフォメーション	○	○	○	○	○	○	○		
リセット	○	○	○	○	○	○	○		

※ PinP 表示時に親画面が PC 2 の場合のみ

主な初期設定（工場出荷設定）値

		PC 1/PC 2	HDMI 1/HDMI 2	VIDEO 1/VIDEO 2
カラーモード		カスタム		
音量	スピーカー	30		
	ヘッドホン	10		
PinP		オフ		
言語選択		日本語		
明るさ自動調整		標準		
信号検出設定		現在の入力		
電源ランプ		オン		
ビープ音		オン		
画面サイズ自動切換		－	有効	
画面表示率		－	[480i/480p/576i/576p 信号のとき] 標準 [1080i/720p/1080p 信号のとき] フル	
カラースペース		－	自動	－
USB		PC 1		
画面サイズ		フルスクリーン	[480i/480p/576i/576p 信号のとき] 4：3 [1080i/720p/1080p 信号のとき] 16：9	
オフタイマー		無効		

別売オプション品一覧

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」
アーム	LA-011-W（壁掛けアーム [1 軸 0 リンク]）
	LA-030-W（壁掛けアーム [3 軸 0 リンク]）
	LA-131-D（フレキシブルアーム [3 軸 1 リンク]）

4 - 3 用語集

色温度 (Temperature)

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K:ケルビン (Kelvin) で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：暖色で紙色に近い白色

9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横 1920 個、縦 1200 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920 × 1200 の解像度であれば、画像は画面全体 (1 対 1) に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度 (Y) と赤の色差 (U)、青の色差 (V) により表現する YUV、赤 (R)、緑 (G)、青 (B) の 3 色の階調により表現する RGB などがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度に変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ (量) をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

コントラスト拡張

映像に合わせてバックライトの明るさとゲインレベルを制御するとともに、ガンマ値を補正し、コントラスト感のある画像を実現する機能です。

フィールド周波数

モニターが 1 秒間に画面を書き換える回数のことです。映像規格によってこの回数は異なります。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整を行うことをおすすめします。

輪郭補正

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整を行う前にはレンジ調整を行うことをおすすめします。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。(本機は DVI-I 入力には対応していません。)

HDCP (High-bandwidth Digital Contents Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

HDMI とは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格のひとつである「DVI」をベースにして、家電や AV 機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1本のケーブルで送受信することができます。なお、本機は入力にのみ対応しています。

I/P (Interlace Progressive) 変換

画面の走査処理を I (インターレース) から P (プログレッシブ=ノンインターレース) に変換する技術です。DVD などデジタル処理されたビデオ信号で、ちらつきを軽減するなど、より高品質な画面を表示するために用いられます。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間 (モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど) の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

4 - 4 プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。(アナログ信号の場合のみ)

表示モード	ドット クロック		周波数		極 性
			水平 : kHz	垂直 : Hz	
NEC PC-9821 640 × 400@70Hz	25.2MHz	水平	31.48	負	
		垂直	70.10	負	
VGA 640 × 480@60Hz	25.2MHz	水平	31.47	負	
		垂直	59.94	負	
VGA 720 × 400@70Hz	28.3MHz	水平	31.47	負	
		垂直	70.09	正	
Macintosh 640 × 480@67Hz	30.2MHz	水平	35.00	負	
		垂直	66.67	負	
Macintosh 832 × 624@75Hz	57.3MHz	水平	49.72	負	
		垂直	74.55	負	
Macintosh 1152 × 870@75Hz	100.0MHz	水平	68.68	負	
		垂直	75.06	負	
Macintosh 1280 × 960@75Hz	126.2MHz	水平	74.76	正	
		垂直	74.76	正	
VESA 640 × 480@73Hz	31.5MHz	水平	37.86	負	
		垂直	72.81	負	
VESA 640 × 480@75Hz	31.5MHz	水平	37.50	負	
		垂直	75.00	負	
VESA 720 × 480@60Hz	28.3MHz	水平	31.47	負	
		垂直	59.94	負	
VESA 800 × 600@56Hz	36.0MHz	水平	35.16	正	
		垂直	56.25	正	
VESA 800 × 600@60Hz	40.0MHz	水平	37.88	正	
		垂直	60.32	正	
VESA 800 × 600@72Hz	50.0MHz	水平	48.08	正	
		垂直	72.19	正	
VESA 800 × 600@75Hz	49.5MHz	水平	46.88	正	
		垂直	75.00	正	
VESA 848 × 480@60Hz	33.8MHz	水平	31.02	正	
		垂直	60.00	正	
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0MHz	水平	48.36	負	
		垂直	60.00	負	
VESA 1024 × 768@70Hz	75.0MHz	水平	56.48	負	
		垂直	70.07	負	
VESA 1024 × 768@75Hz	78.8MHz	水平	60.02	正	
		垂直	75.03	正	
VESA 1152 × 864@75Hz	108.0MHz	水平	67.50	正	
		垂直	75.00	正	
VESA CVT 1280 × 768	79.5MHz	水平	47.78	負	
		垂直	59.87	正	
VESA CVT 1280 × 768	102.3MHz	水平	60.29	負	
		垂直	74.89	正	
VESA CVT RB 1280 × 768	68.3MHz	水平	47.40	正	
		垂直	60.00	負	
VESA 1280 × 960@60Hz	108.0MHz	水平	60.00	正	
		垂直	60.00	正	
VESA 1280 × 1024@60Hz	108.0MHz	水平	63.98	正	
		垂直	60.02	正	
VESA 1280 × 1024@75Hz	135.0MHz	水平	79.98	正	
		垂直	75.03	正	
VESA 1360 × 768@60Hz	85.5MHz	水平	47.71	正	
		垂直	60.02	正	
VESA 1600 × 1200@60Hz	162.0MHz	水平	75.00	正	
		垂直	60.00	正	

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、設定メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、設定メニューで画面の調整を行ってください。ただし、調整を行っても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、設定メニューで調整を行っても画面を正しく表示することができません。

VESA CVT 1680 × 1050	146.3MHz	水平	65.29	負
		垂直	59.95	正
VESA CVT RB 1680 × 1050	119.0MHz	水平	64.67	正
		垂直	59.88	負
VESA CVT RB 1920 × 1200	154.0MHz	水平	74.04	正
		垂直	59.95	負

(マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途として以下の信号にも対応しています。)

表示モード	ドット クロック		周波数		極 性
			水平 : kHz	垂直 : Hz	
720p@50Hz 1280 × 720p	74.3MHz	水平	37.50	正	
		垂直	50.00	正	
720p@60Hz 1280 × 720p	74.3MHz	水平	45.00	正	
		垂直	59.94	正	
1080p@50Hz 1920 × 1080p	148.5MHz	水平	56.25	正	
		垂直	50.00	正	
1080p@60Hz 1920 × 1080p	148.5MHz	水平	67.50	正	
		垂直	59.94	正	

第5章 アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポートの拠点一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より5年間かつ製品使用時間が30,000時間以内です。また、液晶パネルおよびバックライトの保証期間は、お買い上げの日より3年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼される時

- 保証期間中の場合
保証書の規定に従い、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（接続している機器や設定など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収・リサイクルシステムについて

- 本製品ご使用後の廃棄は、下記回収・リサイクルシステムにお出しください。
- * なお、詳しい情報については、当社のホームページもあわせてご覧ください。(http://www.eizo.co.jp)

- **法人のお客様** 本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については下記までお問合せください。

[エイゾーサポートネットワーク株式会社]

電話での問合せ受付	FAXでの問合せ受付
076-274-7369 (専用)	076-274-2416
月曜日～金曜日 (祝祭日及び当社休日を除く) 9:30～17:30	24時間受付 但し、回答は営業時間帯 (電話受付時間帯と同じ)

- **個人のお客様** 本製品は、PCリサイクル対象製品です。本製品をご購入された個人のお客様は、同梱の「PCリサイクルマーク申込のご案内」を参照して、PCリサイクルマークをご請求ください。マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

[情報機器リサイクルセンター]

電話での問合せ受付	インターネットでの問合せ受付
03-3455-6107	http://www.pc-eco.jp

ブラックキャビネット仕様のみ適合。
英文が TCO による文書です。和訳は参考としてご利用ください。



Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the Impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics

- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy

- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and environment
- Electrical safety

Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology

- The products must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14000
- Restrictions on
 - chlorinated and brominated flame retardants and polymers
 - heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements included in this label have been developed by TCO Development in co-operation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labeling system with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit
www.tcodevelopment.com

このたびお求めのモニターには、TCO'03 ラベルが貼り付けられています。これはこのモニターが世界でも最も厳しい、いくつかの品質・環境要求に従って開発され、製造されたものであることを示しています。TCO'03 ラベルは、ユーザー主体の高性能な製品の開発や、自然環境への影響を最小限に抑制するために役立っています。

TCO'03 モニターにはいくつかの要求事項があります。

エルゴノミクス

ユーザーの作業環境を改善し、視覚や疲労の問題を軽減するために、優れたビジュアルエルゴノミクスと画像品質が求められます。輝度、コントラスト、解像度、反射率、演色性、画像の安定性といった項目が重要な要素となります。

エネルギー

一定時間経過後に節電モードに移行することが求められます。これはユーザーおよび環境の双方に有益な要求です。電氣的安全性についても求められています。

エミッション

電磁界やノイズの発生に対する要求事項があります。

エコロジー

TCO'03 製品は、リサイクルシステムを整備しなければなりません。また製造者は EMAS や ISO 14000 といった環境マネジメントシステムの認証を受けなければなりません。

塩素系または臭素系難燃剤および高分子化合物の、製品への使用が規制されています。

またカドミウム、水銀、鉛などの重金属についても使用が規制されています。

TCO'03 の要求事項は、製造者に加えて世界中の科学者、専門家、ユーザーの協力のもとに TCO Development によって監修されています。1980 年後半より、TCO はユーザーフレンドリーな IT 機器の開発に影響を及ぼすべく関与してきました。モニター分野における TCO ラベリングシステムは 1992 年より始まりました。現在では世界中のユーザーや IT 企業に求められているシステムです。

さらに詳しい情報は www.tcodevelopment.com を参照してください。



株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

<http://www.eizo.co.jp>



第 2 版 2008 年 5 月

03V22344B1
(U.M-HD2452W)